

ー夢って何？ー

「夢」は見るものでしょうか。かなわないことが「夢」なのでしょうか？

みなさんそれぞれ、十人十色の考えがあるでしょう。

私が思う「夢」は、見るためのものではなく、叶えるためのもの。

本気でやりたい「夢」があるのなら、どんな苦労も惜しまないはず。がむしゃらに突き進むはず。🌟

ただ、その本当にやりたい「夢」を見つけることができないのです…

事実、私もここにたどり着くまでになかなりの遠回りをしましたから… 🌟

中学一年の私は全く勉強などしませんでした。二年生になっても変わりません。三年生になり、高校受験まで一年を切ったとなっても勉強をしませんでした。

父は一切「勉強しろ」とは言いませんでした。

(母はうるさかったですが🌟)

今になって分かるのですが、「勉強しろ！」と言われても、する気も起きなければしようとも思いません。本人が気づかない限り、「勉強しろ！」という言葉は、ただの騒音と同じです。

親としては辛いかもしれませんが、あまりしつこく言わずに、言いたい気持ちをぐっとこらえて見守ることが大切なのかもしれません。

後で聞いた話ですが、父はこのとき、あまりに私が何も勉強しなかったので胃に穴が開いていたそうです。👩🏻

にもかかわらず、私は「将来は何になりたいの？」と聞かれると、

必ず **医者** と答えていました。

身の程知らずもいいところです。👩🏻

なぜ医者か。それは私が小学生の時、父が大手術をしたのです。脊椎の中に腫瘍ができ、骨ごと摘出するというものでした。

父は入院前に、「お父さんはもう帰ってこないかもしれないからな、もしそうなったら家のことを頼むぞ。」と言ってから入院しました。

小学生ながら覚悟はしました。もうお父さんは帰ってこないのだ、と自分に言い聞かせました。

そして手術当日を迎えました。

手術当日、小学校の先生は「今日は休んで病院に行かなくていいの？」

と声を掛けてくれました。私は返事ができなかったことを覚えています。👩🏻

夕方家に帰ると、母から電話で、「一応手術は終わったよ。」と教えられました。

成功か失敗かはわからないけれど、とにかく生きているんだ！と胸の中で叫びました。

生死の縁をさまよい、だめかもしれないと言われていたのに。そ

れからたった三週間で父は自力で歩けるまでに快復していました。

嘘のようだ…と。👩🏻

その時に「よし、医者になろう」と思ったのです。

とてもベタな、ありふれたようなきっかけでしたが。

皆さんもこんなきっかけで子どもの頃夢を見たという方はいらっしゃるのではないのでしょうか？